参考資料３

平成 29 年 1 月 31 日
リサイクル燃料貯蔵株式会社

リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況について

新規制基準の適合性審査の状況について

事業許可申請書に関する新規制基準への適合性審査は、原子力規制庁によるヒアリング審査が平成 29 年 1 月 20 日までに計 127 回（施設関連 95 回、地震・津波関連 32 回)、原子力規制委員会による公開での審査会合が計 4 回実施されております。

施設関連としては「金属キャスクの基本的安全機能」等が対象となりますが、平成 28 年 6 月までに概ね規制基準の適合性が確認されております。引き続き、後段規制となる「設計及び工事の方法の変更認可申請書」及び「保安規定」の審査対応に取り組んでおります。

一方の地震等関連については、平成 28 年 6 月より審査会合で分野毎（「地質・地質構造」「火山」「地下構造」「地震動」「津波」「地盤」）に審議が行われることとなり、先ずは「地質・地質構造」と「火山」についてヒアリング審査及び審査会合での審議が行われてまいりました。

平成 28 年 12 月 16 日に開催された審査会合で「地質・地質構造」と「火山」については、概ね妥当と評価されたことから、今後「基準地震動」「津波の影響評価」「地盤・斜面の安定性」の審査対応を進めていく予定です。

※リサイクル燃料貯蔵（株）ホームページ：http://www.rfsco.co.jp/